



沖縄県の食育



独自の食文化を育む沖縄

沖縄県は、琉球王国の時代から、中国や東南アジア諸国と積極的に交流を行い、それらの国々の優れた技術や思想を取り入れながら独自の文化を育んできました。

その一つに、先人が、知恵と工夫により作り上げてきた素晴らしい食文化が挙げられます。その食文化は、温暖で暮らしやすい気候と相まって、沖縄県民の健康・長寿を長年にわたって支えてきたものです。

沖縄県では、「健康長寿おきなわ」の維持・継承に取り組む中、地域の特性を生かした食育を総合的かつ計画的に推進するため、「沖縄県食育推進計画～食育おきなわ うまんちゅ(万人)プラン～」を策定し、次代を担う子どもたちの食環境の改善を図るとともに、地産地消の推進、地域・食育での食生活改善の支援、伝統的食文化の継承など、あらゆる面から食育を推進しています。

沖縄県による主な食育活動

① 地域における食育活動の普及推進

食生活分野の健康づくりを応援として登録した団体の活動紹介(ハンドブック配布等)



② 学校や保育所における食育の推進

学校給食での地域の伝統食・行事食の提供や食育学習の副読本の制作・活用促進等



③ 地域・職域における食生活の改善

食育SATシステムによる栄養指導など



④ 地産地消の取組

新鮮で良質な農水産物・加工食品等を広く紹介



⑤ 食文化の普及・継承

沖縄の伝統的な食文化を普及・啓発する担い手の育成等



⑥ うちなーくわっちー～食育の歌～



楽しく歌って踊って「みんなで広げよう! 食育の大きな輪」健康長寿おきなわを支える食育ソング。

